

## チェルノブイリ原発事故による被害・その後

～日本の原発事故をより良く理解するために～

1986年（25年前）4月、ウクライナ共和国にある原子力発電所の4号炉で実験中のミスにより大爆発が起って原子炉が破壊され、大火災が発生しました。

この原発事故により、原子炉内にあった大量の放射能が大気中に広がり、遠く離れた日本など世界各地に押し寄せました。

日本では今年3月、東日本大震災により東京電力福島第一原子力発電所が被災し、水素爆発により飛散した放射能の影響が深刻なものになっています。

国際原子力機関（IAEA）が策定した尺度では、共にレベル7の深刻な事故と分類されています。

チェルノブイリ原発事故その後を長い時間をかけて取材し、映画を製作されたお二人の講師に、映画の上映と身体が受けた影響、後遺症、日本の医師、ボランティア組織による現地での活動、食品への影響などのお話をさせていただきます。

多くの皆さんの参加をお待ちしております。

日時 11月25日（金）午後1時30分～3時  
会場 くらしかん（北桜塚2-2-1） 3階イベントホール  
講師 日本ウクライナ文化交流協会会長 小野 元裕氏  
同協会 チェルノブイリ担当部長 宮腰 吉郎氏  
定員 100名（当日先着順、事前申込みは不要です。）  
参加費 100円  
主催 SA（シルバーアドバイザー）とよなか

「SAとよなか」は志と情熱を持ち、豊中市内に住む人生経験豊かなシニア世代の組織です。会員相互の研修と交流を重ねて、地域社会のお役に立ちたいと願い、学校、福祉施設、その他で活動を続けています。

問い合わせ 芝田祐子 06-6831-1591  
高倉喜美夫 06-6852-3044  
服部富栄 06-6338-1941